

## 令和7年度 箕面市議会行政視察報告書

### 1 日程

令和8年1月20日（火）～ 1月21日（水）

### 2 視察先

#### (1) 愛知県常滑市（ボートレースとこなめ）

視察項目	常滑ボートレース場独自の取り組み・プロモーションについて
視察目的	売り上げ実績を伸ばし、キッズパークやコミュニティパークを併設している常滑市のボートレース場を見学させていただくことで、箕面市のボートレース事業に活かしていく

#### (2) 愛知県名古屋市（名古屋市立山吹小学校・矢田小学校）

視察項目	ナゴヤスクールイノベーションの取り組みについて
視察目的	名古屋市教育委員会が進めている「子ども主体の教育」を視察させていただくことで、自治体主導の教育改革の経緯や取り組みの実際を学び、箕面市政に活かしていくこと

### 3 参加者

議員	尾崎夏樹議員（幹事長）、久野井優子議員、吉田栄美子議員、山根ひとみ議員、神代繁近議員
----	--

## 愛知県名古屋市（山吹小学校・矢田小学校）

項目	内容	備考
名古屋市について	面積：326.43 平方キロメートル 人口：2,340,026 人(政令指定都市) 行政区：16 区 地理：日本列島のほぼ中央に位置 交通：名古屋港、中部国際空港、新幹線、高速道路網が整備され、物流・交通の中心となっている 産業：トヨタ自動車グループを筆頭に産業の集積地	
NAGOYA School Innovation について	学校を取り巻く教育現場の改善、改革を推し進めるために名古屋市教育委員会が主導する形で 2019 年にモデル事業をスタート。2020 年からは幼稚園から高校までの全校を対象にプロジェクト校を募った。	説明 名古屋市立山吹小学校特命主幹
山吹小学校について	一般社団法人日本イエナプラン教育協会がプロジェクト連携事業者となり、「個別最適な学習」「自立して学ぶことを最大限に尊重する学び」を目標に“YST(山吹セレクトタイム)”“ふれあい活動”の実践を 2021 年度からスタート。	説明：名古屋市立山吹小学校校長
矢田小学校について	NPO 法人日本 PBL 研究所がプロジェクト連携事業者となり、PBL(Project based learning)とタブレット PC を活用し、わくわくする気持ちを原動力に、子どもが主役となり、主体的に学ぶ学習を 2019 年度からスタート。	説明 名古屋市立矢田小学校校長

### 写真枠



## 所感

NAGOYA School Innovation のプロジェクト校である山吹小学校と矢田小学校へ視察に伺った。校長先生や教育委員会の方々にお話をお聞きするだけでなく、実際に教室に入らせていただき、お子さんや先生から直接お話をお聞きできる機会もいただいた。そこで、先生が一人で個別最適な授業を行うにあたって、枠組みや準備をしっかりと行った上で、それぞれのお子さんに応じた丁寧なサポートができることや、お子さん同士が教え合い高め合えるということを学ばせていただいた。

また教育委員会が主導となり、子ども主体の学びを行っていくことになった経緯など、大変貴重なお話もお聞きすることができた。教育委員会や行政のトップの方々が課題意識やその解決に対して強い信念をお持ちだったこと。また、多くの先生が積極的に研修を積み重ねられた結果、プロジェクトが進んだことを教えていただいた。

授業に入らせていただいた中で、お子さんたちは大人の要求する正解を探すのではなく、自分の考えたことに基づいて調べたり発表するという素地ができていていることを感じ、多くのことを学ばせていただいた大変有益な視察となった。

## 愛知県常滑市（ボートレースとこなめ）

項目	内容	備考
常滑市について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口：58,474人</li> <li>・中部国際空港が2005年にオープン</li> <li>・招き猫発祥の地</li> <li>・モーターボート競争事業：昭和28年に初開催</li> </ul>	説明 常滑市議会議長
常滑市モーターボート競走場について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地総面積：201,716㎡</li> <li>・競走水面面積：540m×190m</li> <li>・収容人数：3,000人</li> <li>・水質：海水(伊勢湾から取水)</li> <li>＊強い北西風のため防護ネットあり</li> </ul>	説明 常滑市ボートレース事業局 経営企画課長
経営状況について	売り上げ(円)と本場入場者数(1日平均:人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度：約695億円／1,103人</li> <li>・R5年度：約648億円／985人</li> <li>・R6年度：約651億円／994人</li> <li>＊R6年にはSGカップが開催された</li> </ul>	同上
施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年にリニューアルオープン</li> <li>・建設費：38億円</li> <li>・財源：建設改良積立金</li> </ul>	同上
併設施設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別観覧施設：地域へ解放し、令和6年度の利用実績は12件</li> <li>・キッズパーク「Mooovi とこなめ」：ポーネランドが委託運営。令和6年度の入場者数は62,342人</li> <li>・コミュニティパーク「Gruun とこなめ」：多世代交流、コミュニティの拠点として令和3年に設立。令和6年度の入場者数は172,666人</li> </ul>	同上



### 所感

- 令和3年度にリニューアルオープンした競技場で、綺麗で清潔感を感じる施設だった。
- 運営面でも他場と時間をずらす、1号艇にA級レーサーを配置するなどの細やかな工夫を重ねることで実績アップに繋がっており、大変勉強になった。
- 非常に魅力的なキッズパークやコミュニティパークの開設等もされており、地元の方に親しみを持ってもらい、またファミリー層にもたくさん来場していただける取り組みもされているのが実感できた。